

業務用米向け多収性品種の目標収量達成に向けて
穂肥施用で葉色値を維持！

ここがポイント！！

- 1 幼穂形成期頃と出穂 14 日前頃に葉色値を確認する
- 2-(1) 全量基肥施肥栽培（基肥一発施肥）
 葉色値が目標よりも淡い場合は追肥する
 （下表を参考に基肥施用量を考慮して施用量を決定する）
- 2-(2) 分施栽培（基肥-穂肥の体系施肥）
 葉色値で穂肥施用量を決定し、適期に施用する
- 3 出穂期 25 日後まで、飽水管理を継続する

品種ごとの穂肥施用めやす（分施栽培）

品種名	予想 出穂期	穂肥施用時期		施用窒素 成分量 (kg/10a)	目標 葉色値 (SPAD)		
ゆきん子舞	7/26	1 回目 出穂 25～23 日前	1 回目	7/1～7/3	3～4	38～40	
			2 回目	7/12	2～3	36～38	
つきあかり	7/26		1 回目	7/1～7/3	3～4	44～48	
			2 回目	7/12	2～3	44～46	
あきだわら	8/12		2 回目 出穂 14 日前	1 回目	7/18～7/20	3～4	35～37
				2 回目	7/29	2～3	36～38